

地方創生推進交付金対象事業に係る検証結果一覧

【3ヵ年度（平成29年度から令和元年度）】

（事業について）

事業名	各取組名	事業概要	事業費 （円）	交付金充当額 （円）
クルーズシティ木更津プロジェクト～東京湾の新たなクルーズ拠点を 目指して～	木更津港を活用した大型外航クルーズ船誘致業務	木更津港木更津南部地区木更津ふ頭G・H岸壁における外航クルーズ船社寄港実現のため、クルーズ船社への誘致活動の実施、おもてなし組織作り等の各種検討を実施いたしました。	14,987,700	7,493,850
	内港周辺地区都市公園及び交流厚生用地等検討業務	木更津内港地区の公園等に進出を希望するディベロッパー数社を対象にヒアリングを行ない、公園での公募設置管理制度の活用を目的として、公募の条件等の整理などを実施いたしました。	19,980,000	9,990,000
計			34,967,700	17,483,850

（指標について）

指標	指標①	指標②	指標③
	観光入込客数	大型外航クルーズ船の寄港数	訪日クルーズ旅客による推計消費額
平成28年度のKPI値	1, 793万人	0隻	0千円
指標値【増加分】 （3年度分の合計）	212万人	14隻	2, 224, 000千円
・実績値（平成30年度） ・増加分【累計】	2, 020万人 276万人	1隻 1隻	0千円 0千円
目標年月	令和2年3月	令和2年3月	令和2年3月
取り組みの評価	平成30年度実績値増加分の227万人については、クルーズ船の寄港によるものではなく、道の駅「木更津うまくだの里」での集客、「ちばアクアラインマラソン」の開催が要因となっているものと考えられます。 平成30年度の取り組みについては、誘致を目指している中国（上海）からの大型外航クルーズ船のロングクルーズが少なく、東京湾では知名度に優る横浜港・東京港に入港が集中しており、まだ海外からのクルーズ船は木更津港には入港していないため、指標値への効果は出ていません。 しかしながら、国内外の大型外航クルーズ船社、旅行会社、船舶代理店等への訪問などの誘致活動を行ったことにより、船社との関係構築を図るとともに、誘致実現に向けた取り組みを推進することができました。	平成30年度の取り組みについては、誘致を目指している中国（上海）からの大型外航クルーズ船のロングクルーズが少なく、東京湾では知名度に優る横浜港・東京港に入港が集中しており、海外からのクルーズ船は木更津港には入港していないため、指標値への効果が低い状況です。 しかしながら、国内外の大型外航クルーズ船社、旅行会社、船舶代理店等への訪問などの誘致活動を行ったことにより、船社等との関係構築を図るとともに、誘致実現に向けた取り組みを推進することができました。 また、2年連続の国内大型客船「ばしふいつくびいなす」クルーズの実施により、（一社）日本外航客船協会主催の「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2018 特別賞」を受賞することができました。このことにより、木更津港の知名度向上に寄与しました。	大型外航クルーズ船誘致を目指している木更津港公共ふ頭G・H岸壁及び木更津駅からも近接している内港地区は、市民にとって身近な親水空間となっております。 内港地区に訪日クルーズ旅客を誘導し、本市の地域資源であるこの「みなと」の魅力を体感できる回遊性のある港湾空間を形成を図ることで、観光客の消費を促すための拠点の整備を行います。そのために、拠点となる内港周辺地区の公園等に進出を希望するディベロッパー3社より、事業者施設の進出計画や公共空間の整備の方向性等をヒアリングにより把握できたことにより、公募の条件等の整理を実施できました。
今後の方針	木更津港への大型外航クルーズ船寄港や東京オリンピック競技大会開催時の「ホテルシップ」誘致実現に向け、継続的かつ積極的な誘致活動や招聘を実施していきます。 また、クルーズ船寄港時に見込まれる訪日旅客による観光入込客数の増加を目指すため、市内観光施設（三井アウトレットパーク木更津・イオンモール木更津・龍宮城スパホテル三日月等）や体験型施設（ブルーベリー摘み・すだて等）のPR活動を行っていきます。	木更津港への大型外航クルーズ船寄港や東京オリンピック競技大会開催時の「ホテルシップ」誘致実現に向け、これまでの国内や中国（上海）事務所に加え、欧米の本社を訪問しての誘致活動や木更津港への招聘を継続的かつ積極的に実施していきます。 これらにより、クルーズ船の寄港実現を目指します。 また、クルーズ船寄港時に見込まれる訪日旅客を円滑に迎えられるよう、クルーズ船寄港時のおもてなし組織作りを実施し、本年9月に3年連続となる入港が決定した客船「ばしふいつくびいなす」でのおもてなしを実施いたします。	木更津港への大型外航クルーズ船寄港が実現した際のクルーズ旅客の受入窓口となる内港周辺地区の海辺の公園等に、民間事業者の集客施設整備をすることで、訪日クルーズ旅客受入による消費が見込めるため、昨年度のヒアリング結果を元に、公募の条件を策定し、募集提案の選定に繋げていきます。

地方創生推進交付金対象事業に係る検証結果一覧

【3ヵ年度（平成29年度から令和元年度）】

（事業について）

事業名	各取組名	事業概要	事業費 （円）	交付金充当額 （円）
「里海」×「里山」×「街なか」資源の相互連携による地域活性化プロジェクト	木更津版DMO運営業務	「木更津版DMO」となった（一社）木更津市観光協会に対して、マーケティング調査やその他運営にかかる費用に充てるための補助金を交付いたしました。	29,229,000	14,614,500

（指標について）

指標	指標①	指標②	指標③
	着地型観光商品の開発による旅行受入者数	大規模集客施設を除く年間観光入込客数	人口の社会増
平成28年度のKPI値	0人	987, 000人地点	732人
指標値【増加分】 （3年度分の合計）	1, 250人	74, 000人地点	289人
・実績値（平成30年度） ・増加分【累計】	530人 530人	2, 774, 354人地点 2, 730, 172人地点	612人 －120人
目標年月	令和2年3月	令和2年3月	令和2年3月
取り組みの評価	平成30年度につきましては着地型観光事業を推進していくために、地域事業者や住民向けの参加型セミナーである「観光経営塾」の開催を通じて、おもてなし醸成を図るとともに、里海・里山の自然を活用した市内体験型プランの造成に取り組みました。その中で観光経営塾のワークショップを経て、事業者とのコラボレーションによる商品開発が実現しました。	道の駅うまぐたの里のオープンや潮干狩り開催日が祝休日と重なったことなどが影響し、前年度実績よりも844,000人も多くの入込がありました。サイクルツーリズムの推進やブルーベリーを活用した「食」の魅力を発信したことにより里山地区の地域価値が高まっており、沿岸部の来訪者を内陸部へ回遊させる目的はおおむね達成できていると考えます。	木更津版DMOのキックオフイベントを東京丸の内KITTEで開催し、本市が推進するオーガニックなまちづくりの取り組みを含めた本市優位性のトップセールスを対外的に行いました。また、市内体験型プランを造成する中で、地域住民との交流の場を創出しました。本格始動1年目であり実績に結びつくことはできていませんが、上記取り組みを継続的に推進します。
今後の方針	継続的なマーケティング分析や関係者との意見交換、モニターツアー等を通じて、本市に対する観光需要や課題等を抽出し、市内外問わず多くの方に本市の魅力が伝わるような観光商品づくりに取り組みます。 また、食・歴史文化・インバウンドの各部会を木更津版DMO内に設立し、事業者間が連携しながら商品開発等を通じたプロモーション活動を展開していくことで新たな旅行者受入を図ります。	引き続きRESASを活用したマーケティング分析の動向を踏まえ、観光マーケティング視点で地域資源の見直しや情報発信手法の磨き上げを行うとともに、沿岸部のみを目的として本市を訪れる来訪者を内陸部へ回遊させるための観光商品作りに取り組みます。 また、千葉大学との連携による里海・里山地区のサイクルマップ作成を通じてブルーグリーンツーリズムを促進していくことで、観光地の更なるブランディング向上を図ります。	引き続き、大学との連携により木更津ならではの立地や風土、体験や地域住民との交流を取り入れた地域づくり型体験・観光・周遊コンテンツを造成します。 その中で、地域の優れた技と人が輝く場を提供し、木更津に住みたい、住み続けたいと思う意欲の醸成に繋げていきます。 また、東京湾アクアラインを利用した都会からのアクセス性を、観光商談会やイベント等で積極的にPRします。